入会のご案内

本会の趣旨に賛同し、学会活動へ積極的に参加頂ける方の入会を募集しております。

1. 会員の区分

（1）正 会 員　個人または団体
（2）学生会員　学生
（3）特別会員　本会の事業を賛助するために入会した個人または団体

2. 会費（年額）

（1）正会員Ａ　（会誌送付あり）　11,500円（入会金不要）
（2）正会員Ｂ　（会誌送付なし）　9,500円（入会金不要）
（3）学生会員　4,500円（入会金不要）
（4）特別会員　1口につき　年額130,000円（入会金不要）
　　特別会員の団体に所属する方は、会員扱いとなります。

3. お申込み方法

下記URLからオンライン申込みいただけます。
https://www.jser.gr.jp/join/

会員の特典

1．会誌「エネルギー・資源」、ホームページの活用や各種行事の参加を通じて、
　エネルギー・資源・環境に関する有益な情報が得られます。
　※会誌「エネルギー・資源」（年6回刊行）電子版（バックナンバーを含む）へのアクセス
　　（正会員A、特別会員へは会誌送付）
　※研究資料、講演論文集、その他の資料の会員価格頒布とコピーサービス（実費）
　※割安な参加費での本会開催の各種行事への申込
2．会誌「エネルギー・資源」、電子ジャーナル「エネルギー・資源学会論文誌」に投稿できます。
3．研究発表会（8月）およびコンファレンス（1月）で研究成果を発表することができます。
4．表彰を受ける資格が得られます。
5．研究プロジェクト、研究委員会活動に参加できます。

詳細は学会ホームページをご覧ください。

一般社団法人 **エネルギー・資源学会**
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-9-10（リーガルスクエア京町堀）
TEL. 06-6446-0537　FAX. 06-6446-0559
E-mail : webmaster@jser.gr.jp
URL https://www.jser.gr.jp

㋕ 改訂　2022. 02

－エネルギー・資源と環境の調和を目指して－

エネルギー・資源学会

Japan Society of Energy and Resources

ごあいさつ

本会は、第２次石油危機を契機に、1980年４月に『エネルギー・資源研究会』として設立され、10年後の1990年には『エネルギー・資源学会』と改称、2009年４月には法人化によって『一般社団法人エネルギー・資源学会』へ移行しました。
この間、本会はエネルギー、資源、環境という幅広い分野に総合的視点で取り組むため、それぞれの専門分野で活躍する多くの研究者が個別の専門領域を超えて交流できる学際的な場を提供し、行政・産業界を含む幅広い社会層と意見交換や議論を深めてきました。そして、研究発表や行事企画、会誌の刊行、研究プロジェクト等において先駆的かつ具体的な取り組みを行い、大きな成果をあげてきました。
2050年カーボンニュートラルを目指す新しいエネルギー基本計画など、エネルギー、資源、環境を取り巻く国内外の情勢は、ますます変化が加速し対応は複雑化していくのは間違いありません。本会は今後とも当該分野の研究や事業に携わる会員各位の参加を得て、社会の要請に応えるための学会活動を充実させ、新たな発展を目指して参ります。

会誌「エネルギー・資源」の発刊

年６回、奇数月10日に刊行し、ホームページの会員専用ページから閲覧することができます。
正会員Aには１部、特別会員には１口当たり３部、会誌を送付します。

◆内容

展望・解説、特集、研究論文、技術・行政情報等の記事を掲載します。なお、研究論文および技術論文は要旨のみを掲載し、全文は電子ジャーナル「エネルギー・資源学会論文誌」として、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）」にて公開します。

◆投稿

研究論文、技術論文等は会員からの投稿を募ります。投稿規定は、ホームページを参照ください。

研究プロジェクト報告書等の発行

研究プロジェクトで取り上げたテーマについて
報告書を編集し、発行します。

◆主要な出版図書

・スマートエネルギーシステム
・再生可能エネルギー有効利用の最前線
・低炭素社会を目指して
・水素エネルギー社会
・エネルギー・資源ハンドブック

主な事業内容

■研究発表会

会員による研究発表会を8月頃に東京・大阪交互で2日間にわたり開催します（特別講演、表彰式等の関連行事も含む）。

■エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

研究発表、特別講演などを関連団体との共催で１月頃に東京で2日間にわたり開催します。

■研究プロジェクト

特定のテーマを設定し、関連する大学、研究機関、企業の参加を得て、国内外の調査研究を行います。これまでに、「水素エネルギー社会」、「低炭素社会」、「再生可能エネルギー利用」、「スマートエネルギーシステム」、「エネルギーの脱炭素化」などのテーマを取り上げて実施しています。

■研究委員会

エネルギー・資源に関連した特定のテーマについて、より深い知見を得るためにテーマに関する研究ならびに情報交換の場として、委員会活動を行なっています。また、成果を学会内外に提供するため、シンポジウムを開催しています。
（現在活動中の研究委員会）
・「2050年に向けた日本のエネルギー需給」研究委員会
・「家庭部門のCO_2排出実態統計調査利用」研究委員会

■懇話会

エネルギー・資源・環境・経済等をキーワードとした喫緊のテーマについて、各界から第一人者である話題提供者を招聘し、参加者と自由闊達に意見交換するエネルギー政策懇話会を開催します。年6回、東京、大阪、名古屋で開催し、話題提供者を交えた交流会も行います。

■講習会・講座

最新の研究や技術開発の動向等について、専門家講師による講習会、講座を東京と大阪で開催します。

■研究会・見学会

エネルギー・資源・環境に係わる最新設備の見学や専門家の講演等を通じて、最新知見を得られる研究会・見学会を開催します。

■研究部会・ワークショップ

多様なバックグラウンドを持つ若手参加者を中心に、毎年設定されるテーマをもとに基本的な議論・ディベートやチームビルディング過程を体験しながら意見交換や技術交流を行うワークショップを年1回開催します。

■エネルギー施設の災害・安全対策研究会

本会に参加するエネルギー関連企業や大学・研究機関の専門家が相互に情報を交換し、参加メンバー自らの災害・安全対策に生かすことを目的として、見学会や講演会を開催します。

表彰制度

- **学　会　賞**　エネルギー・資源・環境に関する学術の発展に貢献する技術やシステムの開発・解析・調査等で顕著な業績をあげた者（5名以内）に授与します（公募、年1件程度）。
- **茅　　賞**　本会の研究発表で優秀な研究業績が認められた新進気鋭の者に授与します。
- **学生発表賞**　本会の研究発表会・コンファレンスで優れた研究発表を行った学生会員に授与します。
- **論　文　賞**　本会論文誌に掲載され、科学技術の発展に多大な貢献をした研究論文の著者に授与します。
- **学会貢献賞**　学会活動に貢献した者あるいはグループに授与します。